

# 北海道浮魚ニュース

平成 21(2009)年度 17 号 (通巻 No. 288)

2009 年 9 月 18 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## ◎第 2 回太平洋スルメイカ長期漁況予報発表される

9 月 18 日、水産庁より平成 21 年度第 2 回太平洋スルメイカ長期漁況予報が発表されました。下記のホームページに詳しい予報文が掲載されますのでご覧ください。

水産庁アドレス : <http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/index.html>

予測期間 : 2009 年 10~12 月

対象魚種 : スルメイカ

対象海域 : 根室海峡~オホーツク海, 道東太平洋海域, 津軽海峡~道南太平洋海域, 常磐~三陸海域

注) 魚体の大きさは外套長で表示

### 1. 根室海峡~オホーツク海

(いか釣り、定置網)

来遊量 : 前年並みか上回る。

漁期・漁場 : 11 月が漁期の中心となる。

魚体 : 前年よりも大きい。

### 2. 道東太平洋海域 (いか釣り、底びき網)

来遊量 : 前年並みか上回る。

漁期・漁場 : 10 月まで漁場が形成される。

魚体 : 前年並み。

### 3. 津軽海峡~道南太平洋海域 (いか釣り、定置網)

来遊量 : 前年並み。

漁期・漁場 : 10~11 月が漁期の中心となる。

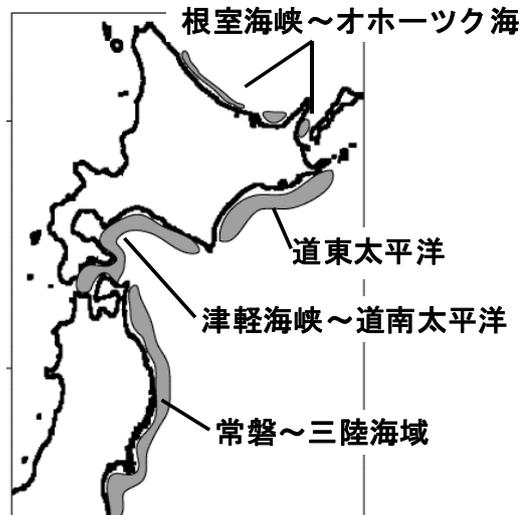
魚体 : 前年よりも大きい。

### 4. 常磐~三陸海域 (いか釣り、底びき網、定置網、まき網)

来遊量 : 前年並みか上回る。

漁期・漁場 : 10~11 月が漁期の中心となる。

魚体 : 前半は前年よりも大きく、後半は前年並み。



※ 今年 8 月中旬~9 月上旬の調査の結果、スルメイカは前年同様に道東太平洋から東北地方の沿岸に広く分布していました (図 1)。また、今後來遊してくると考えられる北海道よりも東の海域にも、6 月の調査でスルメイカの分布が確認されていることから (浮魚ニュース 8 号)、今後の各海域への来遊量は「前年並みか上回る」予報が多くなっています。

また、8 月中旬~9 月上旬のスルメイカの大きさは、各海域とも前年よりもやや大きかったことから (図 2)、前年よりもやや大型の予報になっています。

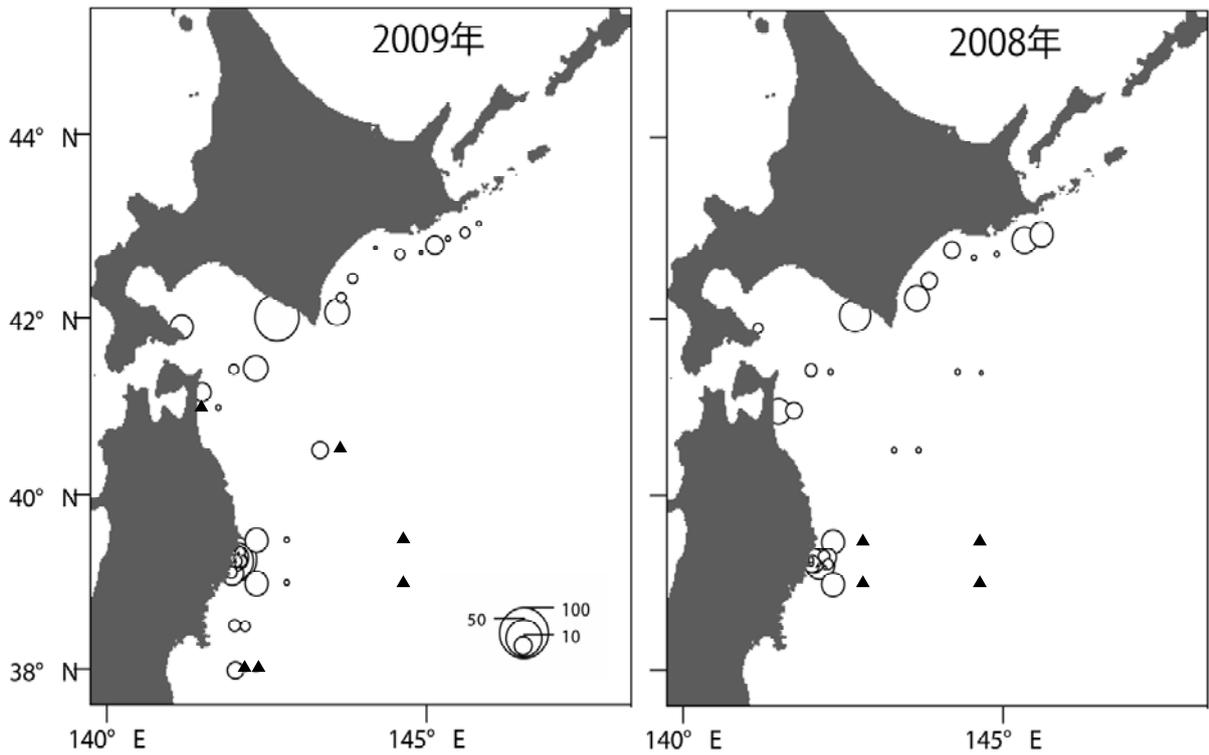


図1 2009年と2008年の8月中旬～9月上旬のスルメイカの分布  
 注)○の大きさは自動いか釣り機1台1時間当たりの漁獲尾数を示し、  
 ▲は漁獲がなかった調査点を示す。

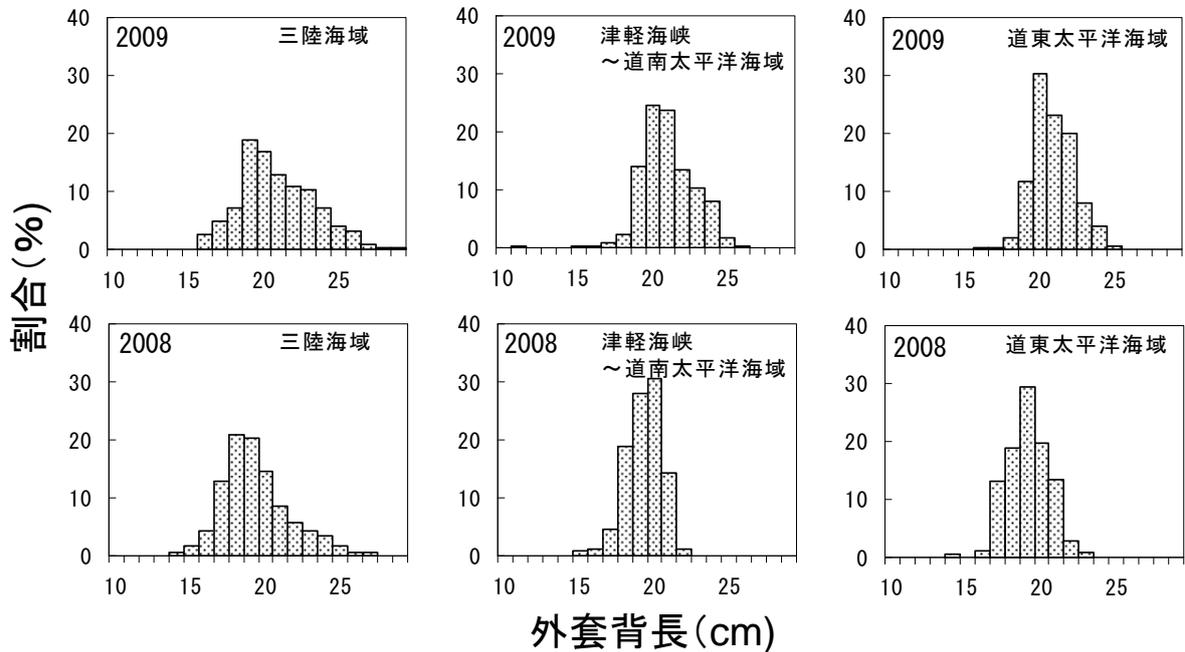


図2 2009年と2008年の8月中旬～9月上旬のスルメイカの大きさ

平成21年度第2回太平洋スルメイカ長期漁況予報は太平洋側道県水産試験場が共同で行ったいか釣りによる調査船調査（図1, 2）などの各種調査結果や漁期前半の漁況などにもとづいて検討されました。図は平成21年度第2回太平洋スルメイカ長期漁況予報資料より。

（文責：釧路水産試験場資源管理部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225）